

ひゃくじゅ



平成29年11月～大磯幸寿苑文化祭

広報誌「ひゃくじゅ」の由来

「ご利用者・職員ともに幸せでありたい」という、大磯幸寿苑の願いが込められています。

～～～ 経営理念 ～～～

「高齢者はすべて我々社会の功労者であり人生の大先輩である」との理念に基づき、幸寿苑は設立されました。加齢による心身の衰えは何人も避ける事のできないことであり、それ故に、一層の敬愛の情と細心の注意をもって高齢者に接しなければならないと、私どもは考えております。施設をご利用いただく方々には少しでも内容豊かな生活をしていただき、一日でも早い家庭復帰と自立が実現できるよう、最善の努力をして参ります。

医療法人社団 幸寿会 介護老人保健施設 大磯幸寿苑

∞∞∞ コンテンツ ∞∞∞

☆表紙

- ・広報誌「ひゃくじゅ」の由来
- ・経営理念

☆老健マメ知識 老健とは No.3

- ・看護師長 藤吉訓子

☆インフルエンザの感染防止にご協力ください

☆「看取り」の施設内研修開催

☆風景写真『冬の心』展示 2階ギャラリー

☆施設長就任 金子 靖

☆職員紹介

- ・リハビリテーション部 作業療法士 片切深央
- ・デイケア 仲川早苗 ・介護士 二宮拓海



H29年文化祭、いそべえ・あおみと後部はデイケア出展作品

今回は老健で起りやすい急変（骨折）です。高齢者は骨粗鬆症など骨がもろくなっているため、尻もちをついただけでも容易に骨折してしまいます。夜間トイレに起きた時などは足がもつれたり、ふらついたりして転倒することが多くとても危険です。転倒した直後は動揺しているために痛みなどの訴えが曖昧で、骨折の判断が難しいときもあります。恥ずかしさや申し訳なさで、痛みを我慢している利用者もいます。老健では病院のような治療は出来ませんから、救急搬送となります。

骨折は転倒、転落がほぼ要因となります。当苑でも1ヶ月約10件ほどあります。全国の老健での事故事例でも転倒、転落は第1位です。転倒、転落した利用者全て骨折するわけではありませんが、私たちスタッフは骨折のリスクを少しでもなくすよう日々努力しています。

インフルエンザの感染防止にご協力ください

今年もインフルエンザ感染の時期になりました。当苑では玄関内の掲示板に、「感染症予防のための面会時のお願い」を貼付いたしました。ご来苑時皆様のご協力をお願いします。

玄関前のお知らせ内容

感染症予防のための 面会時のお願い



ご利用者さんにインフルエンザやノロウイルスなどの感染症を予防するために、下記の対応へのご理解とご協力をお願い致します。

1. 面会に来られた際は、うがい、流水での手洗いを行ってからの面会をお願い致します。
2. 咳・鼻水・発熱・下痢等の風邪症状がある方は、面会をお控えください。
3. お子様（中学生以下）のご面会につきましては、玄関左手の応接スペースでの面会をお願い致します。
4. 流行期間となりましたら面会を制限することもございますので、ご理解とご協力をお願い致します。



インフルエンザ予防のために、手洗いと咳エチケットを。

「かからない」、かかっても「うつさない」の姿勢がインフルエンザ予防には大切です。

厚生労働省ポスター
大磯幸寿苑館内に数枚貼ってあります。



「看取り」の施設内研修開催

超高齢社会となり病気や認知が悪化し自宅での介護が難しい。2018年以降に療養型介護老人保健施設の病床数が減る事、治療、延命を望まない人の受診が難しい時代となってきました。受け入れる病院がない事態となり、結果的に自宅や、老健施設での看取りは必然となってきました。



当苑でも本年度、藤吉師長・佐藤介護統括主任がエンドオブライフ・ケア協会主催の「援助者養成基礎講座」を受講、堀江言語聴覚士が「みとり期にかけての摂食嚥下リハビリテーション～最後まで食べるケア お食い締め～」を受講、浅井作業療法士が自主勉強会にて「みとりについて」を発表したことを受けて、その内容を当苑職員に伝えるべく10月30日に伝達講習を行いました。

風景写真『冬の心』を展示しました

これから冬の季節に合わせ、風景写真家吉村英夫氏が撮影した、「凍る忍野」山梨県忍野村桂川、「雨氷の華」富士宮市人穴、「寒黄櫻咲く頃」山形県小国町、「厳冬の金剛寺」京都府舞鶴市、「雲海の彼方に」山梨県檜形林道で撮影した5作品と、「富士山麓の仲間たち」では、溶岩洞を飛び出す山コウモリや、アケビやドングリ目当のヒメネズミを撮った力作を展示しております。2階ギャラリーコーナーで素晴らしい写真を鑑賞してください。

フォトレポート

9月11日(月)～15日(金) テイクア感謝祭



9.11 (月) ルナフラワーズ

9.12 (火) たんぽぽクラブ

9.13 (水) 大庭昌子 アーティスト、加持

9.14 (木) 安藤テルオとルナハワイアンズ

運動会 2階1回戦:9月26日(火)・2回戦:10月3日(火)、1階1回戦:9月29日(金)・2回戦10月6日(金)



ラジオ体操



まきまきリレー



足玉キャッチ



陣取り



風船ハレー



玉入れ



2階は紅組優勝



1階は白組優勝

おやつバイキング ハロウィン 10月31日(火)



文化祭 11月1日～2階ギャラリーで展示





風景写真家 吉村英夫撮影『冬の心』2階ギャラリーコーナー

施設長就任

平成29年12月1日付金子 靖氏が施設長に就任されました。



職員紹介

リハビリテーション部 作業療法士 片切 深央

『勝ってよかった〜』『今年も勝てたよ!』『ちょっとの差で負けて悔しい!』『来年こそは…』と、毎年たくさんの方の声を聞くことのできる秋の運動会。その運動会も今年で9年目を無事迎えることができました。“リハビリテーション”の視点でなにかイベントをやりたい!そう思い立って始めたこの行事が、さまざまな部署の方々との協力で毎年恒例の行事の一つとなり、とても嬉しく思っています。



この運動会は9月末~10月上旬にかけて各フロア前半戦・後半戦と2回にわたって開催しています。“なぜ2回やるの?”とよく聞かれますが、それには理由があります。2回行うことで、『次は頑張ろう!と次回に繋げる意欲を見出せること』『記憶の連続性にアプローチできること』を考えています。

そしてまた、『カラダとココロをいきいきさせる』『昔を思い出して思いっきり楽しめる』『みんなが一つになって“勝利”という目標に向かって頑張ることができる』これらを目的に、私たちスタッフは毎年反省と改善を繰り返しながら行ってきました。

企画・運営の中心となっているリハビリのスタッフはいつも『みんなにとって楽しい時間になったのだろうか?』『ケガなく終わられるだろうか?』とドキドキのひとつ時でもあります。

特に介護士さんとは運営から協同行い、スタッフへの事前説明や競技の準備、当日の進行を共に行っています。また、同じ場で利用者様の様子を見て感じることで、情報共有の場にもなっています。

利用者様もスタッフもみんなみんな夢中になれる。そんな時間はあっという間ですが、これからもこの行事を続けられるよう精一杯励んでいきたいと思えます。

デイケア 仲川 早苗

私は幸寿苑で働く前、1年間他のデイサービスで働いていました。でも何か物足りなさを感じ、もっと色々な事を勉強したいと思いリハビリの専門の先生がいるこちらのデイケアに勤め、早いもので12年が経ちます。



利用者様の中には以前働いていた所で出会った方もおられ「あなたが居てくれて良かったわ」と言って頂けて本当に嬉しかったです。

デイケアは、朝のお迎えから帰りまで一日を過ごして頂きますが、レクレーションなどは、職員がアイデアを出し合いながら一緒に楽しめるものとなっています。「必ず一回は笑顔になって帰ってもらう」を心に留め日々頑張っています。12年も経ったとは思えないくらい、毎日が新鮮です。きっと利用者様に癒されているからだと思います。これからも皆様に、ここへ来るのが楽しみだ、と思って頂けるよう頑張ります。

介護士 二宮 拓海

大磯幸寿苑でお世話になり約半年が過ぎました。ようやく仕事にも徐々に慣れてきたと感じます。これまでも介護職をさせて頂き、様々な出来事があり楽しい事や辛いことがありました。思い出すとたくさんありますが、やはり利用者様と楽しく話すことが一番この仕事の魅力でないかと思えます。話している時が一番楽しいですし、時には自分の悩みの事なども聞いて頂いたりなんて事もあります。



その様な事の日々の積み重ねが信頼関係につながるのだと最近強く感じます。日々色々な事がありますが経験の一つと考えてこれからも業務に取り組みたいと思えます。

